



2015年2月14日 神於山GS活動報告

1. 活動日時：2015年2月14日（土） 10:00~15:00
2. 参加者： 10名（現役GS：6名 社友GS：4名）
3. 活動内容
 - ・今回は3月8日（日）〈雨天時 3/14・土〉に開催される岸和田・あかりイベント「燈城」への協力として、間伐した竹を有効に活用した“竹燈籠作り”に取り組みました。
 - ・作る燈籠は、岸和田城の天守閣に向かう通路沿いに並べて置く、斜め切りの背の低い燈籠75個と、ワイワイ楽しみながら作るオリジナル燈籠の2種です。
 - ・75個の燈籠は、小型の切断機を使って作りましたので、予想以上の速さで完成し、その分オリジナル燈籠作りに余裕を持って取り組むことが出来ました。
 - ・オリジナル燈籠の中には、未完成に終わったものもありますが、2月28日のチーム神於山の活動日にフォローします。
 - ・参加頂いた10名のGSの皆さん、お疲れ様でした。
 - ・フクロウの営巣は今回も確認できませんでしたが、昨年確認したのは3月に入ってからだったので、引き続き観察を続けます。
4. 今後の活動
 - ・2月28日のチーム神於山の活動では、今回のフォローを含め、展示する燈籠を完成します。

■完成した75個の竹燈籠

小型切断機の動きは抜群で、75個の燈籠は予想以上に早く完成しました。



完成した75個の燈籠を前に一枚。 並行してオリジナル作品作りも進んでいます。

- ・竹が足りない場合は、追加で伐り出すつもりでしたが、門松にしていた竹も有効活用しましたから、75個作って更にオリジナル燈籠を作る竹も十分ありました。（写真右の竹）
- ・小型切断機（写真左の寝かせたダンジリの車の上の機械）は借用したもので、本来鉄パイプやアングル、軽量鉄骨等を切断するものです。
- ・今回の機械は305mmまでの刃が安全に使える仕様のもので、直径10cm程度までなら切断することが出来ます。切断角度は最大45度です。
- ・借用時に305mmの円盤型の切断ヤスリが付いていましたが、今回は同径の竹専用の丸鋸刃を購入して使いました。

■オリジナル燈籠作り。

それぞれ工夫しながらの楽しい作業です。熱中すると会話が途絶えます。



岡田さんは「SHARP」と彫るとか・・・



黙々と励む金井さん。

- ・オリジナル燈籠は、一本でも、数本束ねても自由です。
- ・高さも制限はありません。
- ・SHARP、SGC等のロゴを入れてPRしても構いません。
- ・置き方も、寝かせても、斜めに置いても自由ですが、倒れないように、又、燃えないようにという工夫は必要です。



午後、取りあえず途中で撮影した一枚。この後もオリジナル燈籠作りは続きました。

- ・加工も自由ですが、
 - ①穴をあける。
 - ②開けた穴を繋いで線にする。
 - ③鋸でスリットを作る。
- が、基本です。
更に
- ④ヤスリで滑らかにする。
 - ⑤トーチで焼く。
- 等のデコレーションをすれば、ロウソクに点火しない明るいうちもオブジェとして生かすことができます。



中に落ちた竹クズを振りしている岡森さん。



トーチで焼いて仕上げ中の中村さん。



鋸で奮戦中の森さん。



初参加の大石さんもコツコツ作業中です。

- ・どんな燈籠が出来上がり、どんな具合に灯るか、イベント当日が楽しみです。

以上